

令和四年もみなさまのお手元へ「互恵便り」をお届けいたします。新年のご愛読も、どうぞよろしくお願いいたします。

ごけい たより
互恵便り 第10号

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…
NS 中谷石材株式会社
〒761-0121
高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006



さぬき市津田町北山地区にて
写真撮影 中谷石材(株)大川工場 奥野 武

NS 2022年、新年も笑顔で迎えましょう！

「笑う門には福来る！」

令和四年を迎えるにあたり
皆様のご健康とご多幸を心から祈念して
年末年始号のご挨拶とさせていただきます。

企業理念を持ち、理念に沿った事業活
動に邁進している企業のみが生き残れる
時代が来ていると、強く感じられる時代
を迎えています。

私たち中谷石材(株)は、社員とその家
族の皆様、協力会社の皆様、そして縁あ
る皆様のご支援とご協力をいただきなが
ら、新年も頑張ります。

皆様、どうぞ良い年をお迎えください。

令和三年十二月吉日

中谷石材株式会社
社員一同





年末年始のご挨拶を申し上げます！

令和三年も皆様にはお世話になりました。
事故もなく安全に仕事ができ、つつがなく
新しい年を迎えることができることを、心より
感謝申し上げます。



この一年を振り返りますと、どんな言葉がみなさまの心に浮かぶでしょうか。

「この一年は 「辛抱の年」でした

私は、「辛抱の年」でした。あまり
愉快な表現ではなくて、申し訳あり
ません。けれど、これが本当の気持
ちです。同じ言葉が胸中を去来し
た方も、きつといらつしやるのではな
いでしょうか。飲食店の方、宿泊業
の方、旅行業の方などがすぐに思い
浮かびます。この方々もまた大変き
びしい中を、次の年こそは！と頑
張っておられたはずですよ。

コロナ禍の始まりからもうすぐ2
年。その間、人と人が直接会うこと
が大きく制限されて、現在に至って
います。対面による営業活動ができ
ず、自主的に控えるという期間が、
すでに2年近くになろうとしています。
これは、多くの事業者にとっては
前代未聞と言つていい出来事です。
弊社においても同様です。今はな
んでもインターネットで物を買える
時代ですが、墓石販売の場合は、
まだまだそこまで行っていないです。
やはり、対面での販売が基本です。私
たちも春と秋に 展示会を開き、実
物の石を見て購入を決めていただ
いていますが、これがこの2年は思う
ように開催できませんでした。

当然、業績にも影響がありました
が、お客様とお話できないのが、と
にかく残念でした。

お墓は、どなたにとっても大切な
もので祖先への感謝の表れでもあり
ます。私はそう思っています。また
現実的な話、高価なものでもありま
す。だからこそ、お客様のお話をお
聞かせいただく対面の機会が、とて
も大事です。お客様が胸の内に持っ
ている感謝の思いを、お墓という形
にするのが弊社の役割だからです。

インターネットでは、お客様の思い
が届きません。アオンズでお墓が届
く時代がいずれ来ても、お墓に込め
る真心はポインタで買えません。

みなさまのお墓に、みなさまの感
謝の心を込めるお手伝いをするのは
私たちだと思っています。原石を掘
り出し、お墓をつくり建立するまで
のすべての工程に仕事をする職人の
心が伴っています。

良いことも たくさんありました

辛抱の年だったと言いましたが、良
いこともたくさんありました。
こういう時だからこそ出来ること
にも取り組み、工場をひとつ統合し
て1月から本格稼働しました。
ここで、今まで自社ではできなかった
石工加工も可能になりました。

20年以上続けている環境整備の
取り組みを、さらに深化させまし
た。新たにそうじのコンサルタントに
入っていただき、厳しい指導を受け
ています。おかげで社内がよりきれ
いになっただけではなく、仕事に向
かう姿勢も緻密になったと感じてい
ます。

「辛抱の年」だからこそ 今、出来ることに 取り組みました

お客様を始め、関わりのある方と
のつながりを確かなものにするた
め、この「互恵たより」を発刊しま
した。最初は「どうなることかと思っ
たのですが、ここへ来てみなさまから
反響が届くようになり、大変うれ
しくホッとしています。締め切りの
催促にめげないで、これからも続け
ていく所存です。

すっかり長文になりましたが、振
り返つてみるとこのような充実した
一年でした。新しい年への抱負は、次
号に記します。

みなさま、一年間ありがとうございました。
心からお礼申し上げます。
新しい年も中谷石材をよろしく
お願いいたします。



令和三年十二月吉日
社長 中谷明生



NS 大丁場庵治石採掘場



NS 庵治工場

大丁場
野口浩三
澤井隆
中谷彰吾

大丁場庵治石採掘場

大丁場も、今年一年、事故無く無事に作業が出来ました。仲間の野口さんが体調を崩していますが、新年からは復帰予定です。新年も事故の無いよう一年仕事に従事していきます。

庵治工場
和泉融治 庵治工場一同
和泉融治
和泉智博
黒田実
宮宇地啓
岸本久史
中野哲也
池寛幸

本年一月より中谷石材に加入して、早一年になります。今までは違う環境の中での仕事ですが、早く順応して、わたしたちも中谷石材の中心的役割を担って行きたいと思っています。



NS 大川工場

大川工場を代表して
リーダー 中谷浩一朗

年末年始もまさに年が変わる節目であります。イザナギイザナミの話のように、過去に囚われすぎることのないように、しかし時には、過去に立ち返ったり、故人をおして自身と語り合っ。そんな想いを受けとめる。過去と未来をつなぐ役目をしっかりとできる墓石をこれからも創り続けていけるように、大川工場一同、より一層精進してまいりたいと思います。

（鹿谷）
*今年には休暇中に頭は何針も縫う怪我をしてしまいました。幸いにして、業務に支障をきたす事なく済みましたが、ちよつとした不注意から大怪我になることがあります。来年は、より一層注意力を高めて、怪我のないように何事にも取り組んで行きたいです。

（奥野）
*今年には腹を立てる事が多かったので、新年に向かっては何事にも慎みの心を保てるように、そしてこのご時世なので、明るく生きたいと思えます。

（平木）
*歳をとる毎に一年が過ぎるのが早く感じられます。今年一年は、仕事においては慣れない事務作業を覚えるのに苦労しました。新年は、仕事もプライベートも何か新しい事にチャレンジしてみたいと思います。

（富田）
*毎日の健康づくりを継続する。

（北山）
*来年も、自分らしく怪我や病気もせず平和に一年過ごしたいです。

（司削）
*研磨の技術を向上させると共に、建立検品チームとして悪い箇所を見逃さず、お客様により良いお墓を提供できるように頑張っていきます。

みなさまのお手元にご二ノスレーターはいつごろ届きましたでしょうか？

新年でしょうか、旧年でしょうか。どちらにいたしましても、年が変わる節目である年末年始の頃だろうと思います。

私たち大川工場は、日々、墓石をお創りしております。墓石は、あの世とこの世を隔てながらも絆ぐものでもあります。

あるお墓研究の先生が、初めてのお石のお墓は古事記に出てくる「千引石(ちびきいわ)」ではないかとおっしゃったことがありました。その時はよくわからなかったことを覚えていますが、その時から様々な経験を積む中で、そういうことか...とだんだんと腑に落ちてきました。

年末年始もまさに年が変わる節目であります。イザナギイザナミの話のように、過去に囚われすぎることのないように、しかし時には、過去に立ち返ったり、故人をおして自身と語り合っ。そんな想いを受けとめる。過去と未来をつなぐ役目をしっかりとできる墓石をこれからも創り続けていけるように、大川工場一同、より一層精進してまいりたいと思います。



濃く残る中でスタートした、2021年。

「コロナの影響が色々、少なからず影響を感じておりましたが、後半になりコロナが落ち着きを見せ始めると、少しずつ回復傾向が見られてきました。」

そんな中でも、お客様と中谷石材の縁を大事にしたいという想いでスタートした「互恵便り」。

お電話をいただく、「ほら、いつも送ってくれている、あれ、あれ…」。「互恵便りですね?」「そうそう、いつも

ありがとうございます。それでね…」と、お客様とのこんなやりとりも多くなってきました。

情報管理室としては、お客様と弊社の担当とをつなぐ役割を担いつつ、業務を進めていく中でのほつとする瞬間でもあります。

より多くのお客様にお役立ちできる機会と巡り合える年になることを願い、新年もメンバー一丸となって業務に邁進して参ります。

情報管理室一同を代表して
管理室リーダー 渡邊隆志



令和4年も
宜しく
お願
い
致
し
ま
す

NS 配送センター勤務 字彫課&情報管理室



実は5月から干支の板石作成に取り掛かり、300枚ほど準備していました。知人からも「ハガキが届いたよ。コロナで中止なんやね。残念やわー」の声…。私達もお客様と直接触れ合える貴重な時間なので、中止は寂しかったです。



今年、私達自身とても残念だったのは、ふれあい祭りを中止せざるを得なかった事です。

ただ、社内において感染者が出なかったことだけは幸いです。板石のアマビエ効果は絶大!だと信じています。来年こそ、ふれあい祭りを開催し、多くの方に笑顔になって頂きたいです。

また今年も、それぞれ数回でしたが、「草むしりの作業に応援参加しました。お客様の「スッキリしたよ」綺麗にしてくれてありがとう」と直接お声かけいただき言葉は心から嬉しくなります。

草むしり事業部はキャラの濃いメンバーも沢山いますし(笑)、来年も自己研鑽や交流も目的とし、参加できればと思います。

新年度も、新しい事に積極的に挑戦し、多くの方と互恵関係(お互い様)が築けるように、皆で頑張ります。

字彫課一同

NS 施工部・配送課



今年、配送課は成長の一年でした。

交代で岡山への配送に行けるようになり、配送センターで既存墓のクリーニング作業を行ったりと各々がスキルアップできた一年になったと思います。

「コロナも変異株の発生や第6波の可能性など、ワクチンを接種していても油断出来ない状況で、ほぼ毎日岡山へ向かう配送課としては少しでも早く終息してほしい限りです。」

お客様第一でサービスの向上と安全作業に務めながら、今年を特に大きな事故や問題もなく無事終えられるのは皆さんの協力あってのことだと思えます。

来年はどのような年になるのでしょうか。今年同様「コロナ」に気をつけながら臨機応変に取り組む事にはなさそうですが…。今年得た技術を現状のまま留まらずに来年は更に成長させる。そんな一年にできることを目標とし、今年を締め括ろうと思えます。

施工部・配送課一同



草むしり岡山 円山拠点



草むしり.com高松 田尾班



草むしり.com高松 佐々木班



草むしり.com高松 今田班

この一年も、大変お世話になりました！



今年も一年間お世話になりました。みなさまから沢山いただいたお問合せに、心より感謝申し上げます。

お庭の草むしりや草刈り、庭木の剪定や伐採をはじめ、大切なお墓のお掃除やお手入れ、そして瓦屋根に関する困りごとの相談など、今年は昨年にも増して、たくさんのお客様からお問合せをいただきました。

お客様からのご要望にはできるだけ限り迅速にお応えしたいと、私たち草むしり事業部では人員を増員したり、社内の他部署からの応援も得たりしながら取り組んできました。

それでもこの一年は、私たちが目指す「お問合せいただいた全てのお客様に満足をいただける体制と対応」が出来ず、「迷惑をお掛けしました。」

迎える新年は、今年の良かったことは継続し、悪かったことは改善して、より良いサービスと働く仲間にも楽しい体制を整えていきたいと思えます。

新年も本年以上に宜しくお願致します。

草むしり事業部を代表して
リーダー 牟礼英則



草むしり.com高松 藤澤班



草むしり岡山 備前拠

お客様がこの「互恵便り」を話題にしてくれるようになって、うれしいかぎりです！来年もどうぞよろしくお願いいたします。



令和3年3月から発行した「互恵便り」 来年も毎月お届けさせていただきます！

互恵便り 第1号
互恵便り 第2号
互恵便り 第3号
互恵便り 第4号
互恵便り 第5号
互恵便り 第6号
互恵便り 第7号
互恵便り 第8号
互恵便り 第9号
互恵便り 第10号

これからも、
ご愛読を
お願い致します



平成9年8月入社。施工部で2年、けがの為、字彫課へ転向して22年が経ちました。
座右の銘は、『笑う門には福来る!!』いつも周囲を笑顔にしてくれる、字彫課が誇る緩和材です(笑)。仕事に真摯に向き合い、協力会社の方も驚く、ゴム切りの技術とスピードを兼ね備えたベテラン職人の島山さんです！

字彫課 島山晃

改めて甲さん。お誕生日おめでとうございます。そして：来年も(甘い物)お待ちしております。テヘッ。

甲さんの言動を見て、美輪明宏さんの言葉を出します。幸せを感じれない人は「丁寧」に相手や環境の悪口や不平不満ばかり言う人だと。幸せは何時でも何処でもなれると。相手や環境に感謝する気持ちを持ち続ける事が幸せであり続けることなんだと。

時はおめでどうの言葉やプレゼントを貰う側やけど、年を取ったら無事に今年も誕生日を迎えられた事、それも周りの皆の支えがあつての事。やけん俺の方からありがとうや！：敏幸さんマジ男前すぎる。讃岐のガンジーと呼びたい。笑



11月4日は甲敏幸さんへ字彫課の誕生日でした。3時の休憩時間にシークリームが配られました。センター全員に。今までこの様な事は一度もありません。誕生日である事も知りませんでした。



「感謝 幸せ」



社内報字彫課「菜の花通信」49号より



創業以来100余年、幸せな明日へ折りの心を…
NS 中谷石材株式会社

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



草むしり.com 高松
電話 087-845-5033

互恵便り 第10号

発行日：令和3年12月27日(月) 発行：中谷石材株式会社 編集：S・ニュースレター

6、今月のアキホタタ作品は、2020に制作された「Maskman (マスクマン)」。徳島彫刻集団の野外彫刻展2021での展示風景です。